



JJ1017 Version 3.0の変更点

IHE-J 技術検討委員会 WG1
ASE(株) 森村 晋哉



プロトコル符号シーケンス

(0040,0008)/(0040,0260)

- 多軸プロトコルコードを、モダリティワークリスト提供トランザクションにおいてサポートすることを推奨する。このための推奨コード化システムは、**是正提案CP326(2004年版に組み込み済み)**に定義されている。
- これによって、日本における放射線検査の統計解析のニーズに応えることができ、放射線科の業務に通じた依頼科医師によるより詳細なオーダーへの対応が可能となる。



JJ1017-32 (HIS-RIS間コード)

JJ1017-16M (モダリティ/手技・部位/区分・体位・撮影方向)

モダリティ		手技 大分類		手技 小分類		手技 細分化		部位			区 分	体 位	撮影方向	施設 定義	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
1	2	1	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	3	0	0
1	2	1	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	6	0	0

JJ1017-16S (詳細体位・特殊指示・核種)

詳細体位		特殊指示		核種		施設ごと定義領域									
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



2004/12/15

2

IHE-Jベンダワークショップ2

JJ1017-16M JJ1017C

● IHEのCharge Postingへの対応

- 手技は約400、部位は約350、体位方向は約1,500
- 手技x部位の有効な組み合わせは30,000と推定

● JJ1017-16Mの要件

- 網羅性の向上
- CP326に未対応の装置に配慮する
- 体位・撮影方向や約束撮影を含めて、モダリティに伝達する
- 1オーダで複数部位の撮影がある
- 部位が異なっても、1シリーズにくくりたい
- レポートはオーダ単位で作成される



2004/12/15

3

IHE-Jベンダワークショップ2

JJ1017-16Mの手技部

- **モダリティ部(1桁)**
 - 1(X線), 2(CT), 3(MR), 4(NM), 5(RT), 6(US)
- **大分類(2桁)**
 - 大分類と小分類の組み換えが発生
 - モダリティ毎に21 ~
- **小分類(2桁)**
 - 10進2桁ではコード数が不足
 - 0 ~ 9と(IとOを除く)英字大文字
- **施設ごとの細分化領域(2桁)を予約**



2004/12/15

4

IHE-Jベンダワークショップ2

JJ1017-16Mの部位・体位方向部

- **部位コードの小部位(3桁)と区分(1桁)を組み合わせる**
- **患者の体位(1桁)を追加**
 - 立位、仰臥位、伏臥位、右伏臥位、左伏臥位、座位、半座位、倒立位、...
- **撮影方向(2桁)の充実**
 - 正面、側面、斜位、軸位、接線、約束撮影、...
- **施設定義(2桁)**
 - 施設ごとに定義可能



2004/12/15

5

IHE-Jベンダワークショップ2

JJ1017-16S

- **詳細体位(2桁)**
 - 外反位、内反位、外転位、内転位、外旋位、内旋位、...
- **詳細指示(2桁)**
 - ステレオ撮影、ストレス撮影、荷重位の撮影、発声時の撮影
- **核種の指定(2桁)**
 - X線・電子線(エネルギー区分あり)、陽子線、重粒子線、
 - MRの共鳴核種、NMの放射性同位元素
- **予約は施設の固有拡張に利用可能**
 - 最後の**10桁**は0000000000が保証されていない



2004/12/15

6

IHE-Jベンダワークショップ2

HL7-DICOMの整合

- **HL7**
 - ORC|PAがオーダの括りとなるので、JJ1017-16Pを設定する
 - ORC|CHにJJ1017-16MとJJ1017-16Sを結合して、JJ1017-32とする
 - 複数の**部位**および複数の撮影方向をサポートする為に、JJ1017-32を繰り返し可能とする
- **DICOM**
 - コードシーケンスのコード値長は16バイトに制限される
 - CP326でMWL,MPPSのプロトコル・コンテキスト・シーケンスをサポートした
- **RISの負担が増大するが...**



2004/12/15

7

IHE-Jベンダワークショップ2

RISの役割

- JJ1017-32から
 - JJ1017-16MとJJ1017-16Sへの分解
 - 符号意味は、' 'で分離しても良い
[区分]部位.手技.体位方向.その他
- プロトコルコードの作成
 - 符号系名(0008,0102)、符号系版(0008,0103)の設定
 - 符号意味(0008,0104)の設定
- プロトコル・コンテキスト(0040,0440)の要/不要を判断
- JJ1017-32の個数分繰り返し

- Charge Posting



2004/12/15

8

IHE-Jベンダワークショップ2

プロトコル符号シーケンス例

- (0040,0008) 予約済みプロトコル符号シーケンス
- >(FFFE,E000) アイテムタグ
- >(0008,0100) 符号値 1210000200010300
- >(0008,0102) 符号系名 JJ1017-16M
- >(0008,0103) 符号系版 3.0
- >(0008,0104) 符号意味 胸部.X線撮影.立位正面
- >(0040,0440) プロトコル・コンテキスト・シーケンス(オプション)



2004/12/15

9

IHE-Jベンダワークショップ2

プロトコル・コンテキスト(オプション)

● >(0040,0440)	プロトコル・コンテキスト・シーケンス
● >>(FFFE,E000)	アイテムタグ
● >>(0040,A040)	値タイプ CODE
● >>(0040,A043)	コンセプト名-符号シーケンス
● >>>(FFFE,E000)	アイテムタグ
● >>>(0008,0100)	符号値 123015
● >>>(0008,0102)	符号系名 DCM
● >>>(0008,0104)	符号意味 撮影方向
● >>(0040,A168)	コンセプト符号シーケンス
● >>>(FFFE,E000)	アイテムタグ
● >>>(0008,0100)	符号値 0000010000000000
● >>>(0008,0102)	符号系名 JJ1017-16S
● >>>(0008,0103)	符号系版 3.0
● >>>(0008,0104)	符号意味 X線



2004/12/15

10

IHE-Jベンダワークショップ2

日本語対応の質問に答えて

- 原則: DICOMベースのアクタの全てのトランザクションの特定文字集合(0008,0005)では
 - “ISO-IR 13”は禁止する
 - ”¥ISO 2022 IR 87“を含むことが望ましい
 - ”¥ISO 2022 IR 159“の利用は推奨しない



2004/12/15

11

IHE-Jベンダワークショップ2

患者姓名(0010,0010)

Kanda^Jirou=神田^次郎=カンダ^ジロウ

- 第1要素グループは必須とする
- 第2、第3要素グループは記載することが望ましい
- HL7のPID-5患者氏名フィールドは
 - 全角カナ氏名を必須とする
 - 漢字氏名やローマ字氏名は任意とする
- カナ氏名 ローマ字氏名の変換方式は規定していないので接続性に注意



2004/12/15

12

IHE-Jベンダワークショップ2

Unscheduled Case 1

- ユーザが全角漢字を入力した場合、患者氏名(0010,0010)の第1グループにローマ字が設定されない
 - 患者氏名はType2の属性なので、IHEでRであっても0-lengthとしてよい
 - 患者IDが正確に入力されていれば、IM/IAでの照合が可能である
 - ユーザ操作でローマ字の入力が可能であれば、IHE-Jの日本語に対応している



2004/12/15

13

IHE-Jベンダワークショップ2

Unscheduled Case 2

- ユーザが手動で、半角カタカナを入力した場合、値が患者氏名(0010,0010)の1バイト文字に設定される
 - IHE-Jの日本語拡張では、半角カタカナの使用を禁止している
 - ローマ字に変換して患者氏名の第1グループに設定するべきである
 - あるいは、全角カタカナに変換して、患者氏名の第3グループに設定して欲しい



2004/12/15

14

IHE-Jベンダワークショップ2

終わりに

- 日本語対応は、2003年度と同じです
- JJ1017 Ver 3.0のコード構造に変更があります
- 2004年度はプロトコル・コンテキスト(0040,0440)をオプションとします
- Ver 3.0コードはデモシナリオ決定後に、サンプルを提供します



2004/12/15

15

IHE-Jベンダワークショップ2